

主な内容	
3月定例会のあらまし	1
一般質問議員と項目	1
一般質問と答弁	2
主な質疑	3
議会の動き	3
平成23年度当初予算審査	4



那須烏山市 Nasukarasuyama City

2011 No.21

議会だより

発行
那須烏山市議会

編集
議会広報委員会

事務局
☎0287-88-7114

東日本大震災に被災されたみなさまに
心からお見舞い申し上げます。那須烏山市議会



建設が進む仮設住宅(岩子地内)

3月定例会が3月2日(水)に招集され、3月16日(水)までの15日間の会期で行われました。提出された議案はすべて原案のとおり可決されました。可決された主な議案は次のとおりです。

※なお、議決された議案の内容など、くわしくは「広報那須烏山第67号」(4月15日発行)をご覧ください。

一般質問議員と項目

- ・平成23年度予算(一般会計、7特別会計及び水道事業会計)
- ・平成22年度一般会計補正予算
- ・平成22年度国民健康保険特別会計補正予算
- ・平成22年度老人保健特別会計補正予算
- ・平成22年度後期高齢者医療特別会計補正予算
- ・平成22年度介護保険特別会計補正予算
- ・平成22年度農業集落排水事業特別会計補正予算
- ・平成22年度下水道事業特別会計補正予算
- ・平成22年度簡易水道事業特別会計補正予算
- ・平成22年度水道事業会計補正予算
- ・人権擁護委員候補者の推薦
- ・暴力団排除条例の制定
- ・社会福祉法人助成条例の制定
- ・児童館設置及び管理条例の廃止
- ・曲畑辺地に係る総合整備計画の策定
- ・観光物産センターの指定管理者の指定



樋山隆四郎議員

- 1 職員の人事計画について
- 2 高齢者福祉について



田島信二議員

- 1 消防施設の標識整備について
- 2 学校、公共施設における遊具等の安全対策について
- 3 小学校設備環境整備について
- 4 市道・農道の公共工事について



高田悦男議員

- 1 公園の整備について
- 2 屋内ゲートボール場の整備について
- 3 地域ICT活用モデル構築事業について
- 4 環境対策について



平塚英教議員

- 1 那須南病院と地域医療の充実について
- 2 ワクチン接種公費助成について
- 3 まちなか観光ネットワーク構想について
- 4 烏山線の利用向上対策について
- 5 住宅用火災警報機の普及向上について
- 6 『地域主権改革』について



川俣純子議員

- 1 市役所における男女共同参画について
- 2 市民ホールについて



久保居光一郎議員

- 公的施設のあり方と市の財政見通しについて



渡井由放議員

- 1 ホームページについて
- 2 消防本部移転に伴う道路整備について
- 3 防災無線のデジタル化について
- 4 市長マニフェストについて



平山進議員

- 1 多目的文化スポーツ施設について
- 2 滝愛宕台線の道路整備について
- 3 事業仕分けについて
- 4 三種ワクチン接種に関する取り組みについて



沼田邦彦議員

- 1 固定資産税等の年末の納期について
- 2 税等のコンビニ収納について

※赤字になっている項目は、本紙2ページに質問と答弁の内容が掲載されていますので、そちらもご覧ください。

平成23年3月定例会 一般質問から

※質問・答弁の内容は要約してあります。
詳しくは議会事務局(TEL0287-88-7114)までおたずねください。

職員の人事計画について

樋山隆四郎議員

(問)平成27年度までに課長、補佐、主幹を含めたベテラン職員が定年退職を迎える。特に25年には23名退職する。一人の職員を一人前にするには5年、10年かかる。職員の人数不足、経験不足、知識不足を以て地方分権による事務事業の増加。このような状況の中で、市民への行政サービスは維持できるのか、今後の人事計画はどのようになっているのかを伺う。



まちなか観光ネットワーク構想について

平塚英教議員

(問)本市はまちなか観光ネットワーク構想を策定し、観光客等に市内の名所旧跡や観光施設、買物、飲食スポットを散策いただき、市街地等の活性化を図るとしているが、課題はコースの設定に伴う受け入れの行政や関係団体の協力体制、市内商店街や市民の理解と協力をどのように図るのか、コースの安全や施設設備案内板等の設置も必要だ。構想の具体化を伺いたい。



公共施設のインターネット予約について

渋井由放議員

(問)9月定例会で公共施設の申し込みをインターネットで出来ないか質問をしたところ、年度末までには対応するとの事であり、現在どのように進んでいるか伺う。

(問)予約システムは4月から運用を開始する。パソコンだけではなく携帯電話を利用することも可能である。

(問)予約システムを利用できる施設名を伺う。
◎**総合政策課長** 烏山運動公園、野球場、愛宕台運動場、大桶運動公園、緑地運動公園、南那須運動場、烏山武道館、南那須武道館、烏山体育館、野上体育館、向田、東、興野、荒川、境の小学校跡の体育館、及び烏山小、七合小、荒川小、江川小、烏山中、七合中、荒川中、下江川中の各体育館の25施設である。

学校、公共施設における遊具等の安全対策について

田島信二議員

(問)七合小学校のトンネル付築山に使用禁止の立て看板がある。使用禁止であるなら取り壊すべきである。公共施設においても遊具の安全確認をすべきと考え、市長の考えを伺う。

◎**市長** 遊具は子供たちに冒険、挑戦などの遊びを提供し、その中で危険予知、回避を学んでいる場である。重要な教育設備の一つである各学校の遊具については今後、保育園の遊具については今後、も教職員や専門業者による安全点検を実施し、その結果を踏まえて、遊具の修理、交換あるいは撤去等適宜行い、安全確保に万全を期している。平成21年度には烏山地区の旧小学校跡地にある遊具の安全点検を行い基準に満たなかった遊具は関係自治会と協議の上解体撤去した。本年度は南那須庁舎、南公園にある遊具を点検同様の措置をした。平成23年度以降も南那須地区の旧小学校跡地の遊具を点検するなど安全性の確保に留意していきたい。

市役所における男女共同参画について

川俣純子議員

(問)昨今、社会における女性の地位が考えられている。国は男女共同参画社会基本法第2章に2020年までに指導的地位に女性が占める割合を少なくとも30%程度になるように期待するという目標を2005年12月の閣議で決定した。このため市役所内での男女共同参画としての実績と計画、女性管理職の育成について伺う。
◎**市長** 女性職員の管理職への登用と子育て支援行動

計画を策定し男女を問わずに子育てに参画できる環境を進めている。現在、本市には、課長職はいないが、主幹3名課長補佐10名女性職員を登用しており、課長に昇格していく可能性はある。

多目的文化スポーツ施設について

平山 進議員

(問)旧南那須町時代に勤労者体育館として利用していた施設が河川改修工事に伴い解体され、新しい体育施設建設用として積んだ4億4,000万円の基金が残されている。市長は選挙公約において、多目的文化スポーツ施設の建設を掲げているが、今後どのように取り組むのか。
◎**市長** 多目的文化スポーツ施設の建設については、合併特例債を活用した有利な事業展開が望まれることから、その期限である平成26年度までに整備したいと考えている。また、建設場所については、宇都宮地域の近接性や駅、公共施設等の集積を生かすことから、南那須市街地周辺への整備を検討している。

幼児向けの公園を

高田悦男議員

(問)幼児が安心して遊べる公園を整備する考えがあるか伺う。烏山地区には清水川せせらぎ公園がある。そのような公園のない南那須地区においては南那須

書館南側の約一千㎡の芝生地が最適地と思う。
◎**市長** 清水川せせらぎ公園は芝生、遊具を設置し親子のふれあいの場や幅広い年齢層にわたって憩いの場として活用されている。特に南那須地区には、幼児を安心して遊ばせられる公園が少ないという意見もあることから都市再生整備計画の中で課題として調査・研究を進めていきたい。南那須図書館南側の約一千㎡の芝生地については立地的にも適地と思うので提言を受け止め全体計画の中で検討したい。

公的施設のあり方と市の財政見通しについて

久保居光一郎議員

(問)都市再生ビジョンの原案に烏山高の跡地利用とあるが、現在、体育館や講堂は烏高生が部活で使用している。跡地利用以前に、烏高の第二グラウンド等の環境整備を県に要請すべきと思うが市長の考えを伺う。
◎**市長** その通りだ。県のトップや議会の中核に要望している。

(問)合併特例債で公共施設の構築・整備を行った後、維持管理費等も含め今後の財政はどのようになるか。
◎**市長** 平成二十七年以降は、投資的経費と人件費などを削減せざるを得ない。

税等のコンビニ収納について

沼田邦彦議員

(問)現在の生活パターンの変化は著しいものがあり、電話料金、電気料金等はすでにコンビニで収納を実施している。

税等もコンビニ収納を実施することにより市民の皆様の利便性を高め、収納率アップに繋がるものと考え、コンビニ収納について考えがあるか伺う。
◎**市長** 休日、夜間でも納付できることから、納付機会の拡大、納税者の利便性の向上、さらには収納効率の向上に有効である。市民税、固定資産税、国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料については平成24年度から収納導入の準備を進めている。



主な質疑

3月定例会に上程された議案の審議の中で、議員の質疑の中から主なものを要約して掲載しています。

那須烏山市嘱託職員及び臨時的任用職員の任用、給与、その他の勤務条件に関する条例の制定について

議員 嘱託職員と臨時的任用職員が本市には現在120名いるとのことであるが、職種ごとの職員数はどのようなになっているのか。

答弁 主な職種は、保育士が32名、学級支援員が15名、生活支援員が8名、調理員が7名等である。

議員 民間との賃金格差の問題点は無いのか。

答弁 那須烏山市の一般的な賃金等と整合性を図る。

那須烏山市国民健康保険条例の一部改正について

議員 今回の改正により、最高限度額が引き上げになるが、平成22年度の最高限度額世帯は何世帯であったか。また、平成23年度における軽減世帯の見込み世帯数は何世帯か。

答弁 平成22年度の最高限度額世帯は、186世帯である。また、平成23年度における7割軽減世帯は1,462世帯、5割軽減世帯は377世帯、2割軽減世帯は662世帯を見込んでいる。

議員 今回の改正で国民健康保険税は減るのか、ふえるのか。

答弁 8,300万円ほど予算上減収になる。

議員 この1年間の印鑑登録件数と印鑑証明書発行件数はどれくらいであったか。

答弁 平成21年度ベースで登録件数は976件、証明書発行件数は、1万776件である。

議員 印鑑登録に新たに料金がかかるという事だが廃止についてはどうか。

答弁 廃止についてはわからない。

那須烏山市保育所設置、管理及び保育料条例の一部改正について

議員 保育所が3箇所になるが入園希望者が定員を超えているところがあるか。

答弁 こにこ保育園、鳥山保育園はいっぱいだが、あとは空きがある。

議員 小本須保育園の跡地については、市は更地にする方針であるとのことだが、いつまでに更地にして今後どのように活用するのか。

答弁 平成23年度の早いうちに建物撤去し、跡地はその後、売却を考えている。

議員 この条例が適用となつてからこれまでに何人が奨学金の給付を受けているのか。

答弁 平成20年度から3年間で計44名に給付している。また平成22年度の実績としては、新規10名、継続10名、金額で330万円である。

那須烏山市児童館設置及び管理条例の一部改正について

議員 宮原児童館はどのような利用をするのか。

答弁 レインボーハウスとして不登校児の施設として利用する。

議員 小本須児童館は、平成23年度中に解体することであるが、解体費用はどれくらいかかるのか。

答弁 約520万円を予算計上している。

曲畑辺地に係る総合整備計画の策定について

議員 辺地対策債はどのようなものか。

答弁 8割が国税で算入される有利な過疎債である。



那須烏山市観光物産センター1階の指定期間の変更について

議員 これまで市観光協会による1階のみの指定管理であったが、2階の

平成23年度予算関係

議員 南那須地区広域消防庁舎用地取得について、当初1万㎡の予定が1万6千㎡になった理由は。

答弁 委託料は現行のままの料金である。

議員 2階を含めた管理になるが指定管理料は変えないのか。

議員 農政課長 野菜を主とした品目の絞り込みを現在行っており、夏野菜ができ次第、1つずつあらゆる角度から検証し、できるだけ早い時期に成果を出していきたい。

議員 すこやか推進室を平成23年度に設置するが、その組織及び内容について何う。

市長 すこやか推進室は、教育委員会学校教育課に設置する。県の教育委員会の教員に室長として就任いただき、市の臨床心理士及び一般職員の3名で組織する。主な事業内容は、市の学校、幼稚園及び保育園に向く出張相談窓口を中心に進める。

議員 小中学校の空調設備設置の調査設計費が計上されているが、市内小中学校8校で事業費は幾らかかるのか。

品化されるのか。

農政課長 野菜を主とした品目の絞り込みを現在行っており、夏野菜ができ次第、1つずつあらゆる角度から検証し、できるだけ早い時期に成果を出していきたい。

議員 すこやか推進室を平成23年度に設置するが、その組織及び内容について何う。

市長 すこやか推進室は、教育委員会学校教育課に設置する。県の教育委員会の教員に室長として就任いただき、市の臨床心理士及び一般職員の3名で組織する。主な事業内容は、市の学校、幼稚園及び保育園に向く出張相談窓口を中心に進める。

議員 小中学校の空調設備設置の調査設計費が計上されているが、市内小中学校8校で事業費は幾らかかるのか。

学校教育課長 全部で4億5,000万円かかる。



議会の動き

平成23年1月

22日 議会だより第20号発行

26日 議会運営委員会

31日 第1回臨時議会

議員全員協議会

2月

22日 議会運営委員会

議員全員協議会

3月

2日 第2回定例会

(3月16日まで)

4日 行財政改革特別委員会

7日 議員全員協議会

9日 各常任委員会

11日 各常任委員会

16日 議会運営委員会

議員全員協議会

17日 文教福祉常任委員会

議員

(市内施設被災状況視察)

23日 経済建設常任委員会

議員

(市内施設被災状況視察)

24日 総務企画常任委員会

議員

(市内施設被災状況視察)

29日 議員全員協議会

平成23年度 当初予算審査

平成23年度一般会計、7特別会計、水道事業会計の当初予算については、各常任委員会に付託され、それぞれの常任委員会で慎重な審査が行われました。
ここでは、各常任委員会での審査中に出された意見を要約し、議会において報告したものを掲載します。

総務企画常任委員会

- 所管する課等
総合政策課、総務課、税務課、会計課、議事事務局、監査委員、選挙管理委員会及び固定資産評価審査委員会
- 審査事項
所管する課等の一般会計の歳入歳出

文教福祉常任委員会

- 所管する課等
市民課、健康福祉課、こども課及び教育委員会(学校教育課及び生涯学習課)
- 審査事項
所管する課等の一般会計及び特別会計の歳入歳出

○合併特例債の活用については、真に市民にとって必要なもの、必要とされるものについての活用を第一とし、慎重に対応していただきたい。

○デマンド交通(乗り合いタクシー)の導入については、地域ICTの有効活用も検討しつつ、地域間格差が生じないよう対応していただきたい。

○窓口における接遇の向上が見受けられる。市民目線に立った接遇を心がけ今後、更なる向上に努められたい。

○国民健康保険税については、増税を図る前に滞納額の徴収率の向上

○市税等については、収納体制の抜本的な見直しを図り、収納事務に専門的に従事できる体制を確立し、収納率の向上に努めていただきたい。

○多機能型福祉施設運営事業については、適正な組織づくり及び人材育成を図り、その成果を十分検証し、今後のモデルとなるよう努められたい。

○保育料の滞納整理にあたっては、特段の努力を図るとともに、各保育園との連携を強くし、保護者にも趣旨の徹底を図られたい。

○放課後児童クラブについては、事業者、保護者及び行政との連携を図りながら、適正な管理運営に努められたい。

○英語コミュニケーション推進事業及び中学生海外派遣事業については、本市の英語教育に効果を生む仕組みづくりの策定に努められたい。

○サタデースクール事業については、参加者が減少していることから、これまでの検証と事業内容の見直しを図られたい。

○人生の並木路の現況を点検し、樹木の剪定、伐採及び周辺の清掃等、適正な管理に努められたい。

○環境保全事業については、ペットのふんの処理に関するクレームが多く聞かれるので、飼い主に對し、マナー向上の啓発を強化されたい。

○環境対策事業については、不法投棄の防止に努め、廃棄物監視員の適正な運用に努められたい。

- 所管する課等
農政課、商工観光課、環境課、都市建設課、上下水道課及び農業委員会
- 審査事項
所管する課等の一般会計、特別会計及び企業会計の歳入歳出

○道路整備事業については、道整備交付金が終了となるが、今後とも国県からの有利な補助事業を活用した整備計画を進められたい。

○市営住宅については、市営住宅整備計画の作成を速やかに実施されたい。

○浄化槽設置整備事業については、下水道事業の計画見直しとなる区域についても、設置補助金交付を公平にされるよう努められたい。

○上水道については、漏水調査を速やかに実施され、年度ごとに目標値を設定し、効果的な有収率の向上に努められたい。

6月定例議会は、6月7日(火)開会予定です。

※正式な日程は、5月31日に開催される議会運営委員会で決定されます。

3月議会の本会議日程と傍聴者数

月 日	内 容	傍聴者数
3月2日(水)	開会・上程・採決・付託	11人
3月3日(木)	一般質問	17人
3月4日(金)	一般質問	11人
3月7日(月)	一般質問	27人
3月8日(火)	新年度予算総括質疑	7人
3月16日(水)	報告・採決・閉会	2人
計		75人

議会を傍聴してみませんか



議会を傍聴することは、市政を知る最も良い方法です。
くわしくは、議会事務局までお問い合わせください。

沼田邦彦 議員は、平成23年3月31日をもって辞職されました。

【平成23年4月1日現在 議員数17名(議員定数18名)】

あ と が き

去る三月十一日に発生した東日本大震災により、被災された皆様からのお見舞いを申し上げます。

この度の震災による地震と津波は、一瞬にして多くの人々の尊い命と住み慣れた家屋や街並みを奪い去った。また福島原発の放射能漏れを誘発し、農産物等への被害や節電による経済の停滞など日本経済に大きなダメージを与えている。まさに今、日本は未曾有の困難に直面していると言える。本市も多くの公共施設や市内全域の家屋が甚大な被害を被った。被災された市民への支援や市の施設の復旧を急がなければならぬ。

また、この震災は私達が忘れかけていた電気や食糧等物資の有難さ、人の絆の大切さなどを改めて教えてくれたと言える。この教訓を忘れることなく日本の復興・那須烏山市の復興を図りたいものだ。

末筆ではあるが市職員は震災以後、通常業務に加えての災害対策と何かと多忙であろう。仕事とはいえ、その労苦には心から感謝したい。

(久保居光一 郎記)